（２）　基本目標　　生涯にわたり学び　活躍できる人づくり

基本施策５　自ら学びともに支える生涯学習の推進

個別施策	**５－１５ 学習活動の促進**
めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度（%）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	95.5	96.9	93.5	90.8			100.0

＜成果指標の達成状況＞
R3 と比較して 2.7 ポイント減少しており目標値に向けて進捗していません。専門的かつ複雑性の高い講座の開催により、評価が分かれたものと考えられます。

令和４年度の主な取り組みの内容

◆依田勉三・晩成社に関する特別企画展の開催

百年記念館では令和４年８月 13 日から９月 19 日にかけて特別企画展「晩成社」展を実施しました。展示では、実物の資料と最新の研究成果を紹介し、帯広・十勝の開拓の先駆者である晩成社や依田勉三についてあらためて触れ、幅広い世代に対して郷土について考え、振り返る機会を提供しました。

特別企画展の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	（1）学習機会や情報の提供 市民大学講座では、基本的な感染症対策を継続しながら36講座開催し、延べ1,817人の参加がありました。また、生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行を行い、生涯学習活動やイベントの情報提供を行いました。 図書館では、社会教育施設と連携し、子ども向け講演会やプラネタリウムおはなし会を開催しました。 百年記念館では、基本的な感染症対策を継続しながら手法の改善を図り、博物館講座や郷土学習見学会を開催しました。 動物園では、SNSを活用して積極的に情報発信を行ったほか、飼育体験や裏側探検隊などの講座等を実施しました。
課題及び 今後の方向性	（1）学習機会や情報の提供 市民大学講座については、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、オンライン配信や開催時間の工夫、わかりやすい情報発信などにより、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報提供を行います。 図書館においては、社会教育施設に限らず他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組みます。 百年記念館においては、市民が参加しやすい工夫を事業運営に活かしながら、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組みます。 動物園においては、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実を進めます。

個別施策	**5－１６ 学習を通じたまちづくり**
めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（%）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	26.3	21.5	25.4	26.2			31.0 以上

＜成果指標の達成状況＞
基準値を 0.1 ポイント下回ったものの、着実に割合が増加しており、目標値に向けて進捗しています。基本的な感染症対策を行った上で、工夫を図りながら事業を再展開したことで、市民の自主的な活動が増加していることによるものと考えられます。

令和４年度の主な取り組みの内容

◆「語り手育成講習会」の開催

図書館では、平成１４年度より、学校や地域で読み聞かせの読み手として活動したい人を、読書ボランティアとして育成することを目的に「語り手育成講習会」を開催しています。

令和４年度は、入門編・ステップアップ編と習熟度別に講習会を開催し、より実践的な技術を学び、コロナ禍において徐々に再開している学校や地域での読み聞かせ活動に繋げる機会を提供しました。

語り手育成講習会
ステップアップ編の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)自主的な学習活動の支援 図書館では、読み聞かせの技術向上のための「語り手育成講習会」を開催したほか、令和４年11月に創立20周年を迎えた帯広図書館友の会に対し、記念おはなし会や記念誌発行に際しての相談やアドバイス行い、相互連携し記念事業を実施しました。 百年記念館では、資料整理をはじめとした、博物館での活動において得た知識や経験をもとに、ボランティアの自主性を促しながら高齢者学級等で出前のレコードコンサートを企画・開催しました。 動物園では、学生ボランティアとの連携を図り、来園者と動物とのふれあいのサポート等、活動の場を提供しました。 生涯学習推進委員会では、規模の見直しや基本的な感染症対策を継続しながら「コミュニティ講座」を開催し、地域の生涯学習活動の関心や意欲の向上、地域住民間の交流機会の活性化に取り組みました。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度のもと、教養・文化・スポーツ等の様々な分野において個々の能力を発揮して活躍する人物を指導者として登録したほか、地域における生涯学習活動の支援のために情報を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)自主的な学習活動の支援 図書館においては、ボランティアと情報交換を図りながら、知識技術の向上や活動に対する相談やアドバイスを行い、相互連携を進めるとともに、活動を支援します。 百年記念館においては、ボランティアの知識向上のために研修会等、学習機会の確保を進め、学習で得た知識を活かした新たな活動の場を提供していくほか、ボランティア活動を行う人員の充実に向けて取り組みます。 動物園においては、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援します。 地域の生涯学習活動においては、基本的な感染症対策を継続しながら、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援に取り組みます。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、市ホームページやＳＮＳを効果的に活用しながら情報発信の強化を図り、登録者数の確保に取り組みます。

個別施策	**5－１７ 社会教育施設の整備・管理運営**
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	96.5	97.3	92.3	91.0			100

＜成果指標の達成状況＞
R3 と比較して 1.3 ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。経年に伴う施設の老朽化により、更新が必要な設備の改善が求められているものと考えられます。

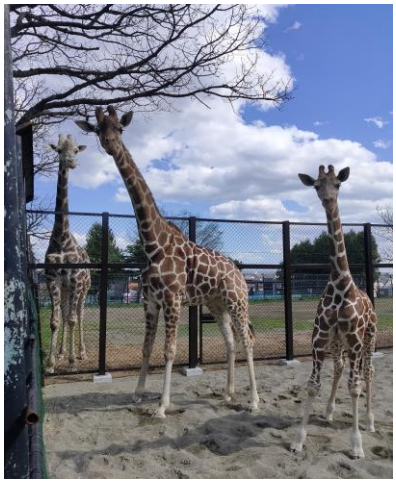
令和４年度の主な取り組みの内容

◆動物園のキリン舎外放飼場柵の設置

令和２年９月に単頭飼育が続いていた雄キリンとの繁殖を目的として、多摩動物公園からブリーディングローンにより雌キリンを導入しました。

令和４年６月にキリンの仔が生まれ、今後の適切な頭数管理や個体同士の闘争による事故を防ぐことなどを目的として、現在の外放飼場柵内を仕切る柵を設置しました。

※ブリーディングローン
（公社）日本動物園水族館協会（JAZA）加盟動物園同士で行う種の保存を目的とした動物の貸し借りのこと


柵設置後のキリン展示の様子

◆移動図書館の取り組み

移動図書館は、地域住民の身近に図書を届けるため、移動図書館バス「ナウマン号」に 3,500 冊積載し、地域に設置しているステーションを巡回しています。

また、コミュニティセンター等図書室にも図書を配本、定期的な入れ替えを行い、図書館に来ることが困難な市民の利便性向上を図りました。

移動図書館バス「ナウマン号」

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	（1）計画的な施設整備の実施 とかちプラザでは、汚水ポンプ更新修繕、外壁改修実施設計委託を実施しました。 図書館では、中央監視装置修繕やエレベーター仕様変更工事等を実施しました。 百年記念館では、照明制御装置改修更新工事等を実施しました。 児童会館では、非常用自家発電設備更新工事等を実施しました。 動物園では、「動物園の魅力アップ方針」に基づき、老朽化した園路整備のほか、馬ふれあい舎の実施設計及び新キリン舎の実施設計に着手しました。
	（2）適切な管理運営の推進 とかちプラザでは、コロナ禍で中止していた事業についても、新しい生活様式に則った方法で開催する等、創意工夫を凝らしながら学習機会を提供しました。 図書館では、基本的な感染症対策を継続しながら図書資料の貸出・返却を実施し、読書機会を提供しました。 児童会館では、木育推進事業として新たな木製遊具を導入し、「木のおもちゃランド」を開設しました。 百年記念館では、利用場所毎に細かく人数制限を設けながら、学習機会を提供しました。 動物園においては、感染対策を講じながら一日飼育係やおびZoo探検隊等の講座を実施しました。
課題及び 今後の方向性	（1）計画的な施設整備の実施 多くの社会教育施設では、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通じて、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	（2）適切な管理運営の推進 とかちプラザにおいては、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。 図書館においては、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組みます。 児童会館においては、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催していくほか、学びと遊びの機能の充実に取り組みます。 百年記念館においては、利用者ニーズを念頭に置き、利便性の向上を図るほか、効果的・効率的に管理運営を進めます。 動物園においては、地域に根差した魅力ある動物園と感じられるよう、講座等の学習機会の提供やレクリエーション機能の充実に取り組みます。

基本施策６　人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策	**６-１８ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働**
めざす姿	文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	直近１年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
－	64.7	45.1	43.4	48.6			65.0 以上

＜成果指標の達成状況＞
R3と比較して5.2 ポイント増加しているものの、目標値に達していません。感染症対策による市民の外出自粛傾向から回復の途上にあったことや、鑑賞スタイルが自宅での活動へシフトした影響によるものと考えられます。

令和４年度の主な取り組みの内容

◆第5回帯広市民バレエの開催

文化団体等が行う自主的な活動を支援し、市民の主体的な文化芸術活動を促進する取り組みを行っています。

令和４年度は、バレエダンサー、オーケストラのほか、企画、運営、公演に多くの文化団体・市民が参画し、第５回帯広市民バレエ「眠れる森の美女」が開催されました。

多くの市民によって創り上げられた公演を 1,206 人の方に鑑賞いただきました。

第５回帯広市民バレエ

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)市民文化芸術活動の促進 市民主体の文化芸術活動を支援するため、日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や、地元在住の若手芸術家にスポットを当てた展覧会「北の構図展」のほか、地元アーティストの作品を一堂に展示・発表する「十勝の大地を生きるアーティスト展」を開催しました。また、積極的に創作活動に励む子どもたちが、将来「市民文藝」への応募に続くよう、とかちジュニア文芸第13号と市民文藝第62号を発刊しました。このほか、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を行いました。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用し、文化団体の情報提供を行いました。また、文化活動を行う人材・団体の育成のため、文化活動功労賞に、優秀な文化芸術活動を行う1団体を表彰したほか、文化活動への支援として事業補助・大会派遣補助を行いました。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 基本的な感染症対策を継続しながら、さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施することで、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供しました。また、北海道立帯広美術館の特別企画展「銀の匙 silver spoon 展」に参画し、市民が身近に芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)市民文化芸術活動の促進 市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業を継続するほか、子どもたちの創作意欲をさらに高め、読解力・表現力の向上を図るため、「とかちジュニア文芸文章教室」を開催します。そのほか、市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行います。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行います。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 市民の文化芸術への関心を高めるため、基本的な感染症対策を継続しながら、鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組みます。また、市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画します。

個別施策	**6－１９ 文化資源の継承・活用**
めざす姿	歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。
施策担当課	百年記念館

成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	2,161	1,728	1,638	2,021			2,269 以上

＜成果指標の達成状況＞

R3 と比較して 383 件増加しており、基準値は下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。新たな市指定文化財の指定や、感染症の流行が下火になった影響などが要因と考えられます。

令和４年度の主な取り組みの内容

◆アイヌ伝統文化の取り組み

帯広カムイトウウポポ保存会の伝承活動を支援するため、補助を行いました。

伝統的生活空間（イオル）再生事業として、帯広競馬場において古式舞踊の披露を行ったほか、緑ヶ丘公園内での植物観察会やとかちプラザでの料理体験交流会などの市民を対象とした伝統文化にかかる体験講座を実施し、計 27 人が参加しました。

アイヌの料理体験交流会の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)文化財等の調査・保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、文化財や史跡を紹介するリーフレットを製作しました。また、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整を行ったほか、重要文化財「ハ千代Ａ遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成に取り組みました。文化財を活用する事業としては、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車４号及び客車コハ23号の公開を行いました。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 「帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金」により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施しました。
	(3)市史資料収集・保存 令和３年度の出来事をまとめた「年史報告書」を作成しました。また、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)文化財等の調査・保存・活用 今後も文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行います。また、文化財を活用する事業を継続して実施していくほか、「ハ千代Ａ遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう、計画的に取り組みます。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助、及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組みます。
	(3)市史資料収集・保存 「年史報告書」を作成に取り組むとともに、令和14年度に迎える帯広市開拓150年・市制施行100年を見据えて、資料収集事業に取り組みます。

個別施策	**6－２０ 文化施設の整備・管理運営**
めざす姿	市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。
施策担当課	生涯学習文化課、百年記念館

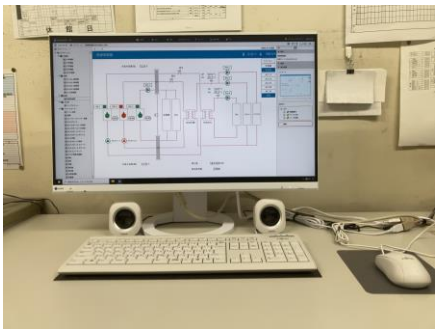
成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 （R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	83.0	84.3	87.6	97.0			88.0 以上

＜成果指標の達成状況＞
R3より9.4 ポイント増加し、目標値を達成しています。R4 のアンケートから、「普通」の回答を削除したため、ポイントが急増していますが、計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善を進めたことなどが評価されたものと考えられます。

令和４年度の主な取り組みの内容

◆市民文化ホールの改修

市民文化ホールは、市民の文化芸術活動の発表や鑑賞の拠点施設として、多くの市民に利用されており、施設の特性を踏まえながら、安全性や緊急性を考慮し、長寿命化等に向けた計画的かつ効率的な修繕・更新を進めていく必要があります。令和４年度は、施設の空調等の各種設備を一括で管理する中央監視装置の更新等を実施し、施設の機能維持を目的とした整備を進めました。



中央監視装置の更新を実施

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、市民文化ホールの中央監視装置の更新等を実施したほか、施設の機能維持を目的とした整備を行いました。
	(2)適切な管理運営の推進 市民文化ホールでは、基本的な感染症対策を継続しながら、安心して利用できる環境づくりに取り組んだ結果、利用者は前年度より 89,220 人増加しました。また、指定管理者による利用者ニーズを意識した適切な管理運営により、施設利用者の高い満足度が得られています。そのほか、市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 文化施設においては、大半の施設で供用開始から 30 年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 感染症の影響により大幅に減少した、施設利用者数や使用料・利用料金収入は回復傾向にありますが、引き続き、適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。

基本施策７　笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策	**７－２１　多様なスポーツ活動の促進**
めざす姿	誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（%）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 （R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	21.0	18.1	17.6	16.5			22.0 以上

＜成果指標の達成状況＞
R3 と比較して 1.1 ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。感染症流行の長期化等に伴いスポーツ活動の規模が依然として縮小しており、少年団の活動に影響が出たことによるものと考えられます。

令和４年度の主な取り組みの内容

◆ほっとドリームプロジェクト

地元の資源である「スケート力」を有効に活用するために、地元の応援体制や裾野の拡大、競技者の育成に系統的に取り組み、スケート資源の循環を図っています。

令和４年度は、少年団や中高生のほか、幼児や初心者、保護者、指導者を対象とした教室を開催し、延べ 1,961 人が参加しました。

スケート教室の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)スポーツの振興 　スポーツ振興及び更なる競技力の向上を図るため、競技大会への選手等の派遣支援等を行いました。また、スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞において２個人・１団体、スポーツ奨励賞において５個人・５団体を表彰しました。そのほか、各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民への観戦機会を提供しました。
	(2)スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 　スポーツ少年団本部及び競技団体である帯広市スポーツ協会への支援を実施したほか、スポーツ少年団指導者育成の支援を行いました。
	(3)スケート競技の振興 　スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、競技者育成及び地域応援体制の整備を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)スポーツの振興 　競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進めます。
	(2)スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 　安全確保に関する研修の実施などを通して、指導者の資質向上に取り組み、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組みます。
	(3)スケート競技の振興 　スピードスケートをはじめとした地域における各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を行います。また、スピードスケート教室に対する地域の需要が高いことから、「ほっとドリームプロジェクト」や、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、スケート競技の普及促進に取り組みます。

個別施策	**7－２２ スポーツによる活力のあるまちづくり**
めざす姿	誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	１年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（%）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	82.4	82.0	90.1	95.9			87.0 以上

＜成果指標の達成状況＞
R3と比較して5.8ポイント増加し、目標値を達成しています。基本的な感染症対策を継続しながら、市内における各種全国・全道大会、プロスポーツの試合等の一部再開などにより、人々のスポーツへの関心が高まったことによるものと考えられます。

令和４年度の主な取り組みの内容

◆スポーツフェスティバルの開催

10 月の体育の日をメインに、市民が気軽にスポーツ活動を行うきっかけづくりとして、競技団体による初心者向け講習会・大会の実施や体育施設・学校プールの無料開放を行っています。
令和４年度は、18 種目を実施し、2,411 人が参加しました。

実施種目（ラジオ体操）の様子

◆フードバレーとかちマラソン大会の開催

平成 24 年度に帯広市開拓 130 年市制施行 80 年の記念事業として第１回大会を開催、令和２年度及び令和３年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりスマートフォンアプリを活用したオンライン開催となりましたが、令和４年度の第 11 回大会は３年ぶりに実地開催が復活し、4,497 人がエントリーしました。

第１１回大会の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	（1）地域スポーツの振興 　スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を48回開催し、延べ1,276人が参加しました。また、地域住民が自ら企画・運営する6つの総合型地域スポーツクラブの運営支援を行いました。そのほか、市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しみ、交流が深められるよう学校施設の開放を実施しました。
	（2）スポーツ大会合宿等誘致 　競技団体との連携により、日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会をはじめとする各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援のほか、プロスポーツ等の誘致を実施しました。また、フードバレーとかちマラソン大会は、3年ぶりに実地開催し、4,497人がエントリーしました。
課題及び 今後の方向性	（1）地域スポーツの振興 　スポーツ教室の開催などを通じて、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組みます。学校施設のスポーツ開放については、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信を行います。
	（2）スポーツ大会合宿等誘致 　スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進めます。

個別施策	**7－２３ スポーツ施設の整備・管理運営**
めざす姿	スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人がスポーツ施設を活用しています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値【R1】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	77.3	82.7	80.4	93.9			82.0 以上

＜成果指標の達成状況＞
R3と比較して 13.5 ポイント増加し、目標値を達成しています。実績値の基としているアンケートの回答項目をR４から見直し、R３まで設定していた「どちらでもない」という回答項目をなくした結果、肯定的回答が増えたものと考えます。

令和４年度の主な取り組みの内容

◆帯広の森市民プールの改修

帯広の森市民プールでは、プールサイドの床面が経年劣化により剥がれてきている状況があり、毎年１２月の休館期間に工事を完了させるため、床面を３ブロックに分けて１年毎に１ブロックずつ工事を行い、段階的にプールサイド床面を更新しています。
令和４年度は第２期の工事を完了しました。

第２期工事後のプールの様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、明治北海道十勝オーバル中央監視装置システム改修工事、帯広の森陸上競技場観客席躯体改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（2 期）を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 スポーツ施設においては、多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間活力を生かした指定管理者制度を導入しています。また、パークゴルフ場においては、指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 スポーツ施設の多くが供用開始から３０年以上経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度、及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組みます。